

【オリコンサルグローバル社員が登壇 マニラ首都圏地下鉄事業を紹介】

マニラ首都圏地下鉄事業を紹介

オリコンサルグローバル社員が登壇

オリエンタルコンサルタンツグローバルの社員が、米国Esri社が主催するEsri User Conference 2023に登壇、「フィリピン国マニラ首都圏地下鉄事業」での地理情報システム（GIS）を活用したプロジェクト監理の方法について、施主であるフィリピン国運輸省担当者と共同で発表しました。

Esri User Conferenceは、GISのソフトウェアやデータを扱うEsri社のイベントで、毎年世界各国から1万7000人を超えるEsri製品ユ

ーザーが参加し、さまざまな分野のプロジェクトや研究で培った経験とノウハウを共有、意見交換している。プレゼンターは米Esri社内の選考委員が審査して選ばれている。

今回は米サンディエゴで7月10日から14日にかけて開かれ、オリエンタルコンサルタンツグローバルの松崎栄治地球環境・農業開発部次長が比国の担当者とともにプレゼンテーションした。写真。

日本のODA（政府開発援助）資金と無償資金協力で実施されるマニラ首都圏地下鉄事業は、延長34kmの2028年開業を目指して現在工事が着々と進行している。同社は事業の施工監理業務でGISやBIM、VR（仮想現実）などを連結することで、プロ

ジェクト管理全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）化を積極的に推進している。

